

目標達成計画

事業所名 グループホーム 柿の里

作成日：平成23年4月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	49 18	開設1年を迎え地域の方達に認知されてきていると思うが、事業所と地域との交流と言う部分でまだまだ出来る事があるとの思いがある。	柿の里でのイベント開催	・公民館でのクラブ、行事への参加 ・落語会の計画、開催 (前年も実施)	2 か月	
2	23 9	1人1人の利用者さんの思いや希望にそえるよう情報収集や気持ちを生かしていく必要がある。	利用者さん自らの会話が増えるように努める。	・利用者への関わり方の検討や家族、スタッフ間の連携を密にし、利用者一人一人の思いを確認していく。	3 か月	
3	10 6	事業所の行事等の案内をご家族に送っているがなかなか参加して頂けない。 入所した事により、ご家族も安心されるのか足が遠のく傾向にある。	ご家族に柿の里での取り組みを知っていただき、行事等に積極的に参加して頂けるようにしていく。	・2か月に1度のペースで「ホーム便り」を作成し、ご家族、関係機関に送付する。 ・行事、食事会の企画、案内。	3 か月	
4	4 3	固い雰囲気で会議を進行してしまう、参加された方が意見や感想を言いにくいのではないと思う。	運営推進会議を活性化する。	・参観日のように、普段のケアを見て頂くその後、一緒に食事をし会議に参加して頂けるよう流れを持たせる。	2 か月	
5	49 18	希望に添った個別の外出支援が充分でない、1人が外出すると皆が外出したいと希望される、自然な形で個別に外出する為にはどうすればよいのか。	利用者一人一人が行きたい所に外出できる支援をする。	・誕生日等のイベントを利用して特別な日を作る ・外出レクの充実	1 か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	○	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		○	利用者へサービス評価について説明した
		○	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
			運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			その他()
2	自己評価の実施		自己評価を職員全員が実施した
		○	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		○	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		○	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	○	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		○	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	○	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
			評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		○	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			その他()
5	サービス評価の活用	○	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		○	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		○	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		○	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			その他()